

自由が丘『交通ビジョン』素案

説明資料

自由が丘交通ビジョン

(素案)

2011/11

「将来の自由が丘がどうあるべきか」を含めた議論の中から将来の道路、歩行空間、鉄道、駅、等交通に関する『自由が丘交通ビジョン』を街が自ら創るための『たたき台』のひとつです。

(素案 1 の前提)

都計道127,208,46 計画幅員で活用

大井町線地下、東横線高架

歩行環境を優先

実現不可能ではないという一定の背景

街自身が考える 自由が丘交通ビジョン 素案

この素案は行政との調整がなされた素案ではありません。検討のためのたたき台です。

歩行優先ゾーン

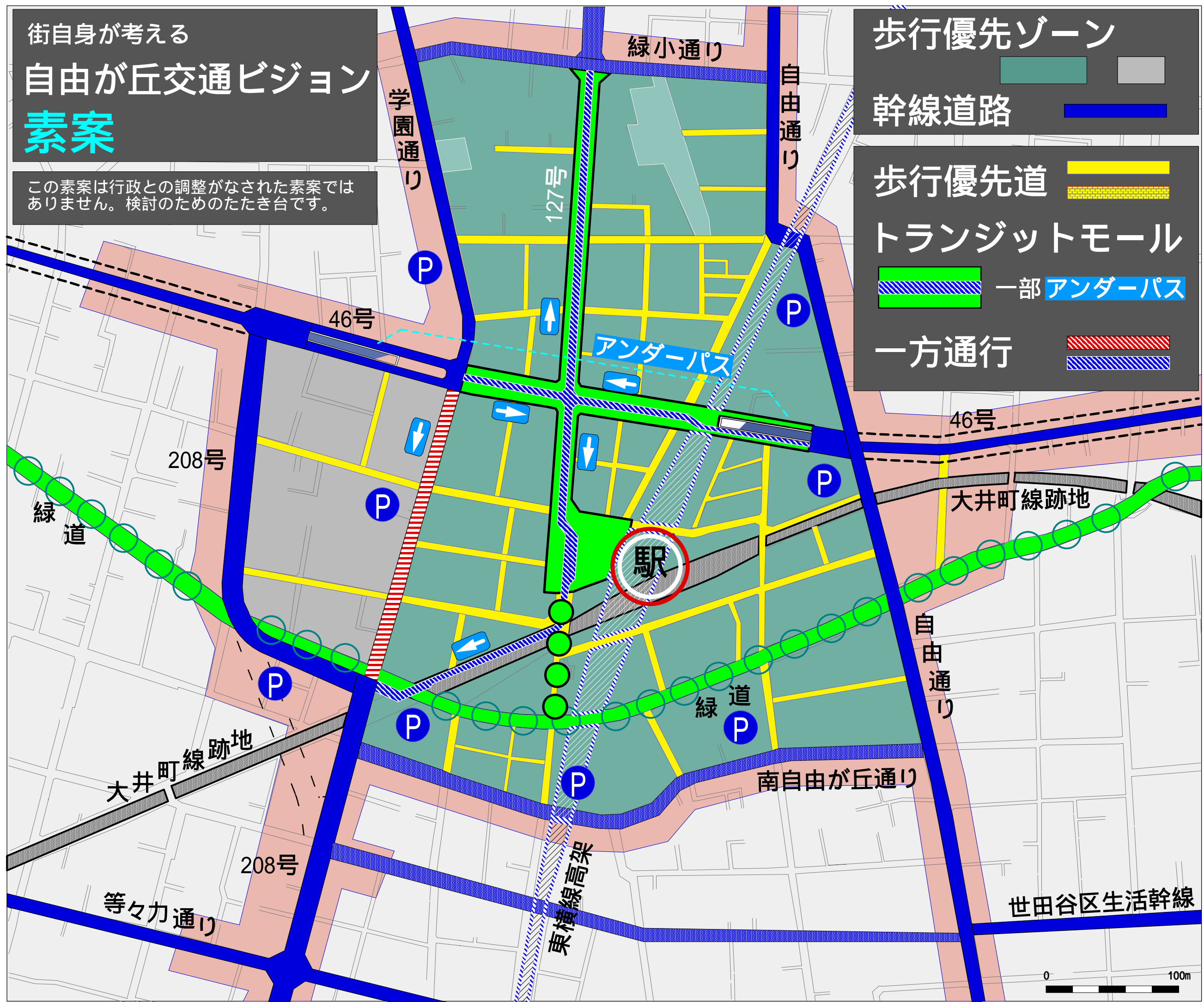
幹線道路

歩行優先道

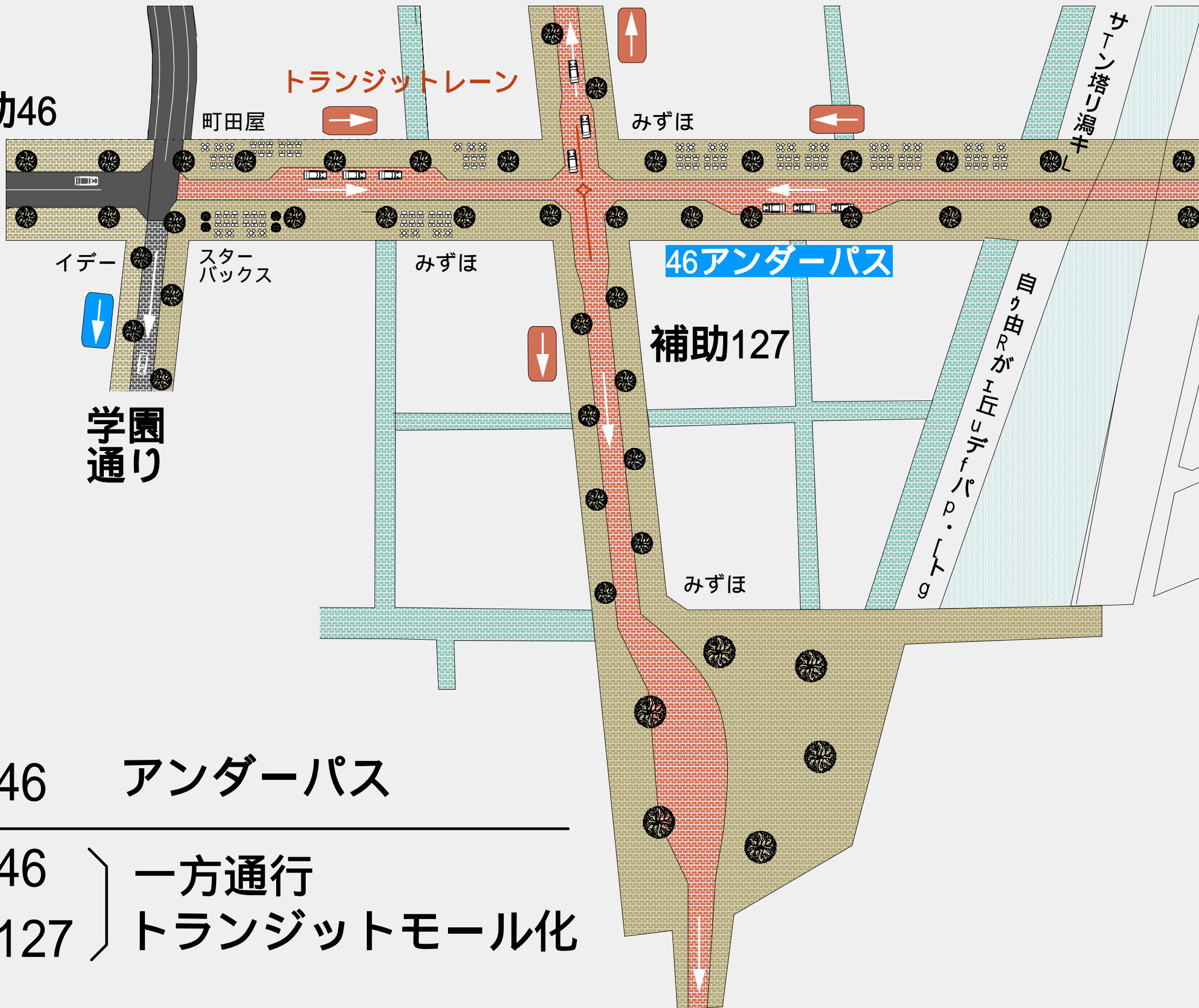
トランジットモール

一部アンダーパス

一方通行



補助46

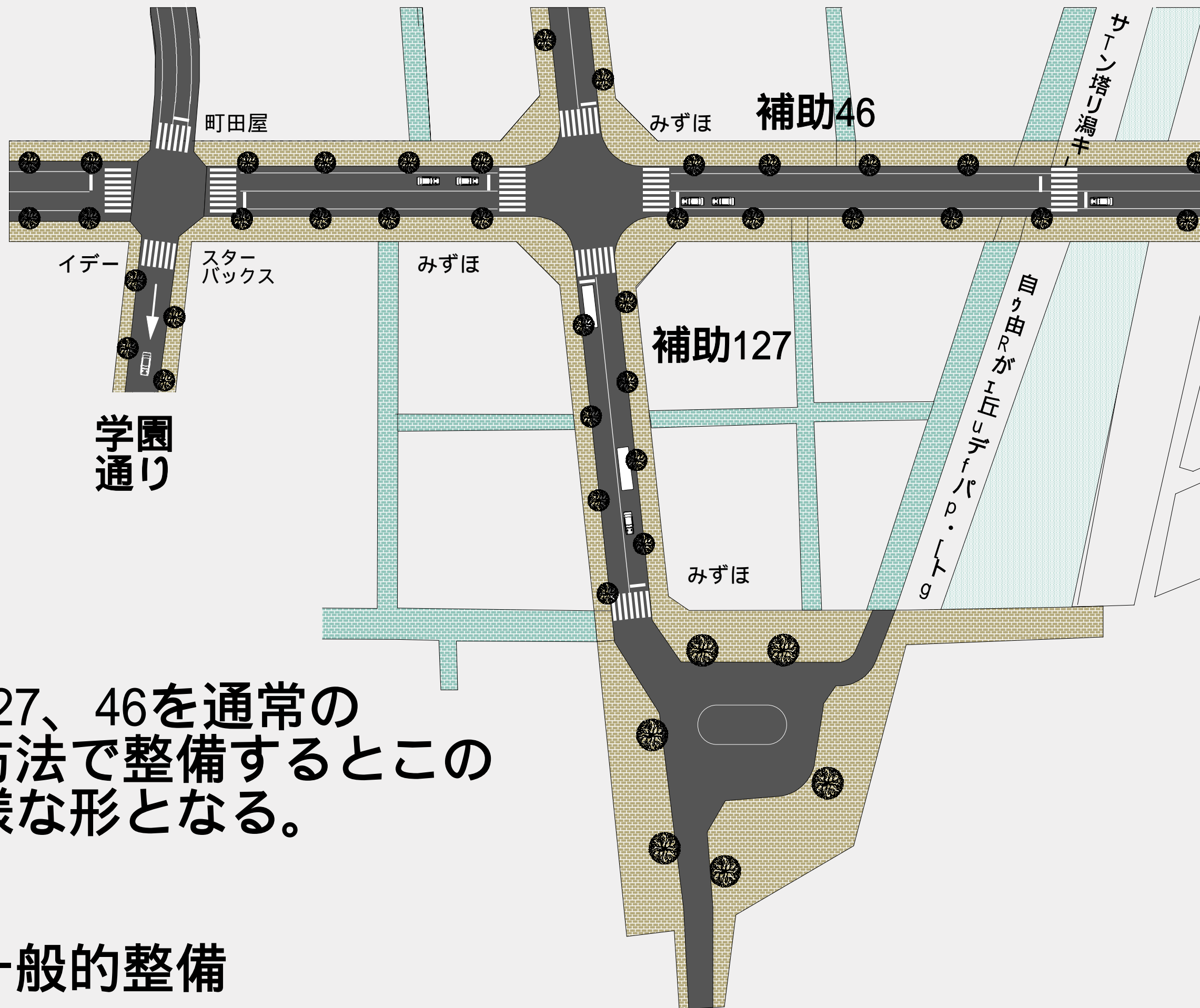


補46 アンダーパス

補46 } 一方通行
 補127 } トランジットモール化

46・127整備案-中央





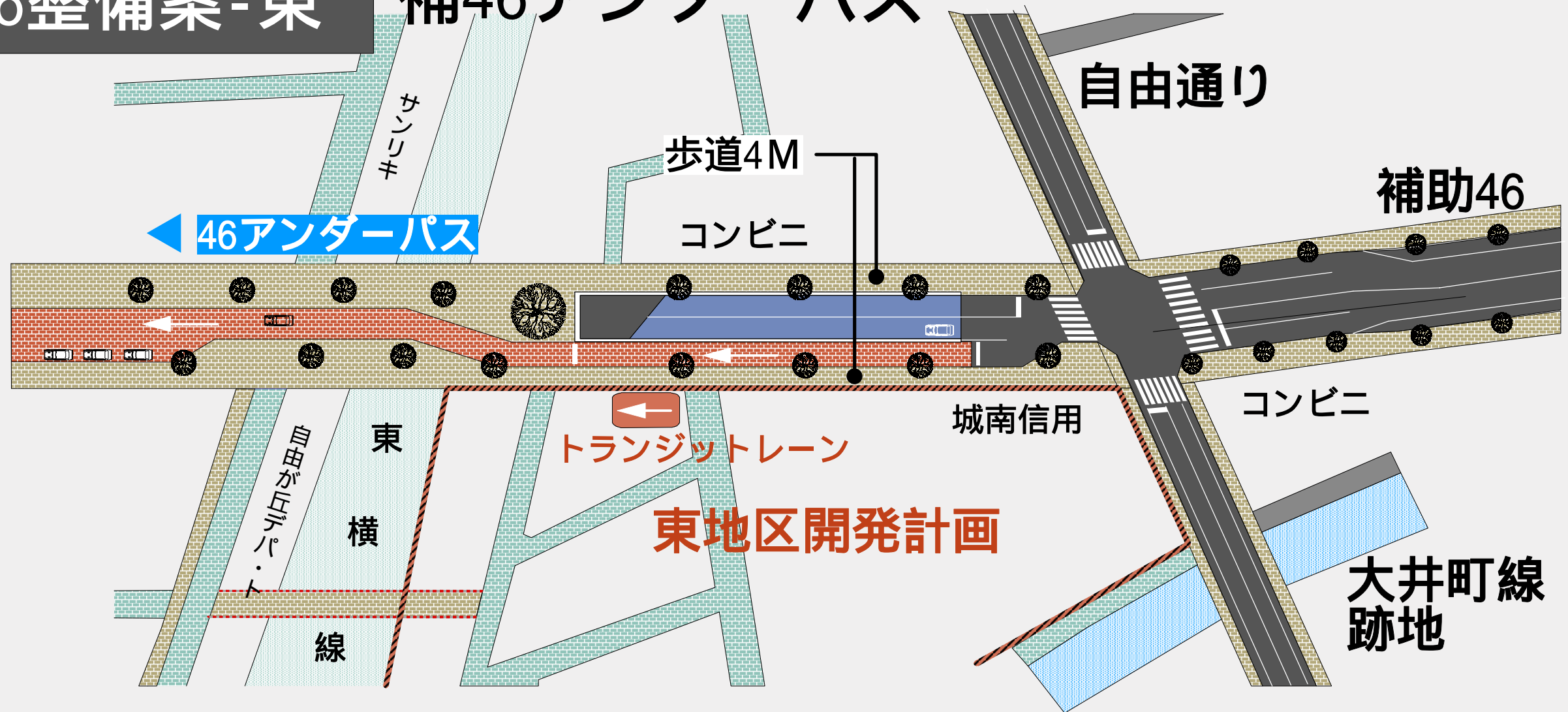
127、46を通常の方法で整備するとこの様な形となる。

一般的整備

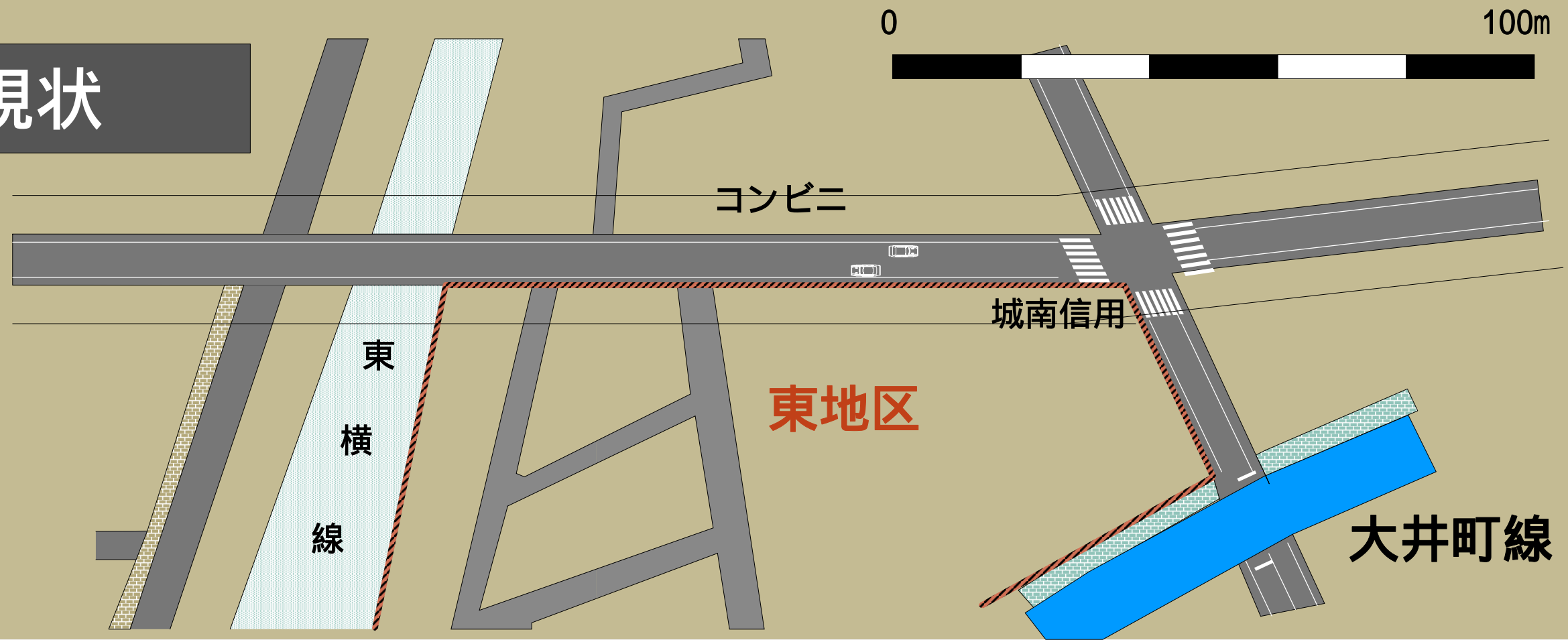
46・127整備案-中央

46整備案-東

補46アンダーパス

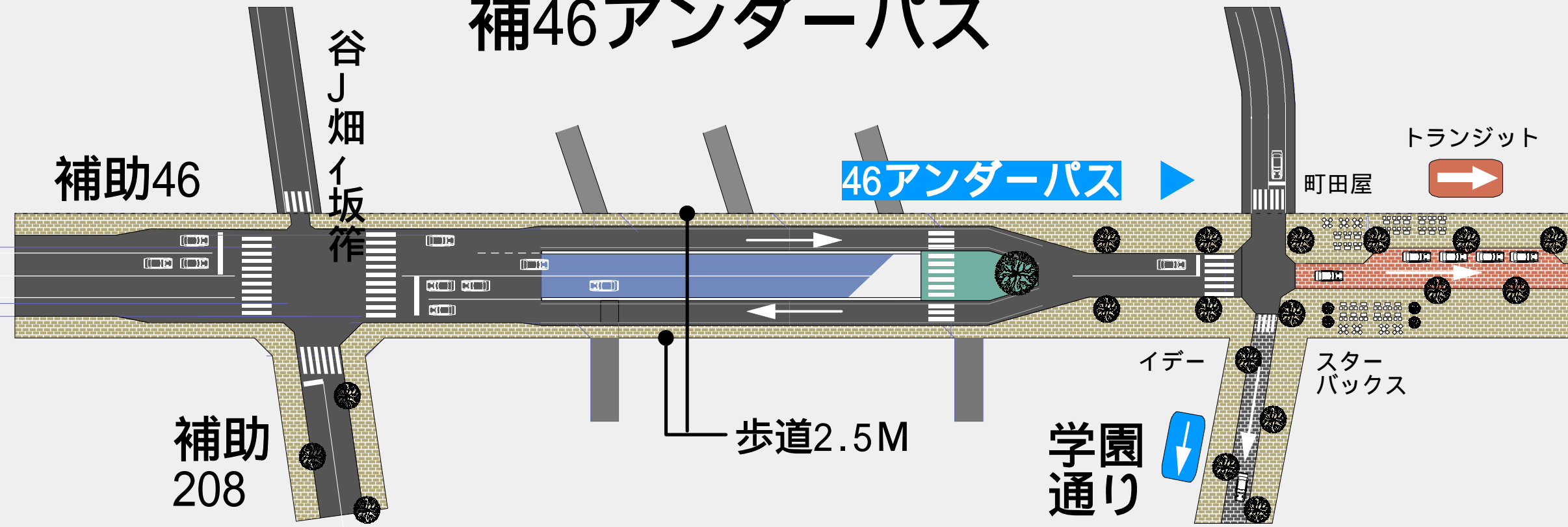


現状

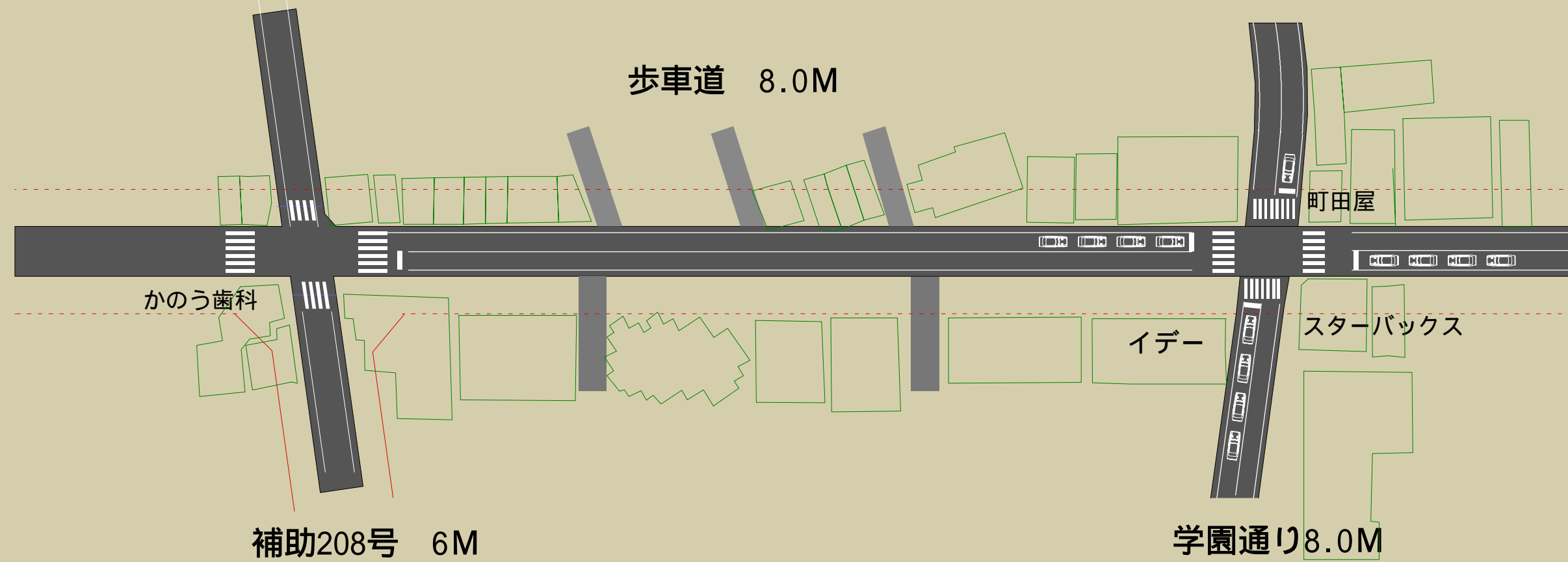


46整備案-西

補46アンダーパス



現状



地区計画

建築のルール
などを地域で
検討し条例化
する制度

